

# 糖尿病ハイリスク検査 1,500円（税込）

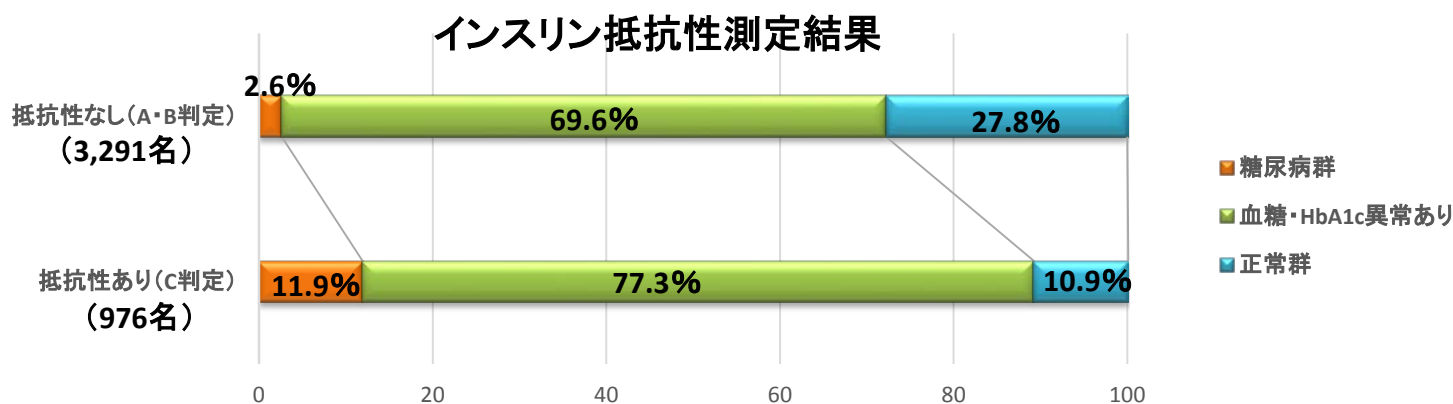
糖尿病は、“インスリン”の作用が不足することで発症します。

次のような方には検査をおすすめします

- 脂質異常症、高血圧、肥満の既往がある方
- 尿の回数・量が増えた方
- 家族に糖尿病の人がいる方

※空腹時限定の検査です。

血糖値が正常であっても、インスリンの分泌不足を起こしていたり、インスリン抵抗性がある場合、将来糖尿病になるリスクが高いと予想されます。ご自分のインスリン作用を調べてください。



資料：平成28年糖尿病ハイリスク検査当会データより

当会集計では、976名（22.8%）の方にインスリン抵抗性がありました。抵抗性のない方と比較すると、血糖・HbA1cに異常のある方の割合が明らかに増加しています。抵抗性ありの方は、現在空腹血糖・HbA1cが正常値でも、悪化する可能性があるため、予防に努めましょう。

## 検査の判定基準表

空腹時インスリン		HOMA-R	
範囲	単位(μU/mL)	抵抗性	
上昇が認められる範囲	15.0以上	あり	2.5以上
軽度上昇が認められる範囲	10.1～14.9	ありの疑い	1.7～2.4
基準値の範囲	5.0～10.0	なし	1.6以下
低下が認められる範囲	4.9以下		

HOMA-R  
(インスリン抵抗指数)

$$= \frac{\text{空腹時血糖} \times \text{血中インスリン濃度}}{405}$$

インスリン値が異常な方やインスリン抵抗性のある方は、糖尿病を予防するために適度な運動や食生活の見直しなどの生活習慣改善をおすすめします。